

大地沢青少年センターの民間活力導入について

大地沢青少年センターは、青少年の健全育成と市民の福祉増進を目的に1978年度にオープンし、恵まれた自然環境の中での野外活動や宿泊等の様々な取り組みを行っていますが、近年は利用者数が減少しています。青少年だけでなく多世代の利用者ニーズに合ったサービスの提供等により施設の魅力向上を図り、相原地区のにぎわいの拠点となることを目指すため、民間活力を導入します。

1. 経過及び現状

年度	内 容
2015	市民参加型事業評価を契機に、施設管理・運営形態のあり方の見直しを開始。
2017	センターの運営委員会から、民間活力を導入した効率・効果的な運営を行うことが必要との報告を受ける。
2018	町田市子ども・子育て会議から、「民間活力を導入し、大地沢の魅力を活かした施設運営をすることが望ましい。」等の答申を受ける。
2019	民間活力導入を進めるため、事業者へのアンケート・ヒアリング等を開始。
2020	今後のセンターの役割など、基本的な考え方を検討。
2021	利用者ニーズの把握を目的とした実証実験の結果を検証し、事業手法や民間活力導入後の仕様案を検討。 2023年4月より指定管理者制度の導入を決定。

2. 民間活力導入の方向性

「青少年」だけでなく、乳幼児から高齢者まですべての世代を広くターゲットとして、誰もが気軽に使える施設にします。

民間事業者の柔軟さで、新たな事業展開や、それぞれの世代が楽しめるプログラムを提供することにより、今までにないにぎわいを創り出します。

またそのプログラムでの経験を世代間で共有していくことにより、コミュニケーションの活性化にもつながるものと考えます。

3. 今後のスケジュール

年度 月	2021			2022									2023		
	4	~	2 3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	あり方検討		● 条例 改正	民間事業者の選定等				● 事業者 決定	民間事業者への引継等				● 民間事業者 による 運営開始		

【大地沢青少年センター見直し方針】（抜粋）

3. 大地沢青少年センターの見直し

(1) あるべき姿について

やりたいことを組み立てて実現する場所

～Nature Factory 東京町田～

魅力ある大地沢青少年センターに整備を進めていくにあたり、コンセプトを「ネイチャーファクトリー東京町田」といたしました。

大地沢の最大の魅力である「豊かな自然環境」を生かし、乳幼児から高齢者までの全てが共に、またそれぞれに楽しむことのできる多世代に対応したプログラム等を、来所者が自分で選んで作り上げることが出来るセンターづくりを目指します。これにより、周辺類似施設との差別化、施設の個性化を図ることで、大地沢青少年センターの競争力を高めて持続的運営を目指します。

具体的には、『大地沢の豊かな自然環境と一体となった施設環境づくり』によって、飲食・宿泊・休憩といったハード面から滞在機能を拡充し、体験・学習・観賞の観点から、今までの『子どもの成長を育む』役割を維持するとともに、『多世代の人々が自然にふれる仕組みづくり』をソフト面でプラスすることで、大地沢にしかないセンターづくりを実現します。



(2) 魅力向上のためのイメージについて

利用者がセンターを「どう思っているか」と町田市が利用者に「どう思ってもらいたいのか」などのイメージを一致させる必要がある。

センターの魅力向上のためのキーワード

誰 が…「乳幼児から高齢者までの全ての世代」
 何を…「施設」「資源」「プログラム」
 どうする…「組み立てる（自由に）（自分らしく）」

